

事業計画書

事業名	課題解決のストーリーができちゃう！つながるワークショップカード ～「+.action」（プラス アクション）～
実施場所	市内の施設等
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和7年6月1日 ~ 令和8年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

昨年挑戦はじめた活動を継続。コンセプトは変わらず「+.action」カードを活用して、沼津で活動するプレイヤーをつなぎ、みんなの資源を共有し生まれた化学反応から課題解決するお手伝いをすること。市民活動の盛んな沼津を活性化させたい！沼津の魅力を伝えたい！と考え作ったカードを活用しセミナーを実施。カード裏面に沼津の魅力である深海魚をデザイン。協力講師を招きカードを使ったセミナーを開催し、沼津をつなぐを目指す。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。
市民活動やセミナーが活発な街、沼津をより活性化させると共に、沼津市内外問わずマチカツや沼津の魅力をPRしたい。また、若者でもやれば何かできる！みんなが協力すれば何かが生まれる！ことを実証することで、より若い世代から沼津やマチカツに触れ、未来の沼津をつくる一歩を目指す。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。</p> <p>※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。</p> <p>○具体的活動の全容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップカードを活用したセミナーを開催。 ・裏面に、深海魚をキャラ化しており沼津をPR。 ・プレイヤーの多い沼津の中で新しい化学反応が起きるきっかけとなるセミナーを開催。+.actionカードを使ったワークショップで参加者をつなぎ、みんなが持っている資源と、アクションをかけわせることで更に新しい沼津の活動につなげる。 <p>○ワークショップの内容</p> <p>ワークショップを通じて、解決したい課題に対して、カードを使って、資源を掛け合わせることで新しい解決策を模索するもの。</p> <p>今回の協力講師であるNPO法人チュラキューブの代表である中川さんが発案したワークショップで、自分に関わる「人」と「場所」の資源を棚卸し、それに「アクションカード」から強制的なアクションを加え、「人」×「場所」×「アクション」を掛け合わせ、課題解決のストーリーを創造し、実際の活動に生かすというもの。</p> <p>地域資源とアイデアのかけ算から、活動の可能性や創造性を生むもので、新規性が高く社会性がある企画を楽しみながら作れる。</p>

○今回具体的に行うこと

- ・アクションカードを活用したセミナーの実施。裏面は、深海魚キャラがデザインされており沼津をさりげなくPR。
- ・カードの説明書に加えて、深海魚シートを更に充実。前回は、深海全般についての説明だったので、今回は深海魚の説明を加える。
- ・表面の深海魚キャラの活用した展開の準備。

例：深海魚を推している店舗等とコラボの模索
深海魚カフェ、深海魚水族館
くるら戸田等



完成したアクションカード



キャラ化した深海魚



セミナー風景

令和7年度 計画 主な項目

- ・ワークショップカードを活用したセミナーを市内にて実施。
- ・深海魚の説明シートの作成。
- ・ワークショップカードの販売
- ・追加のワークショップカードを作成

9月 深海魚の説明シートの作成

10月 マチカツ活用者を対象としたセミナーの開催

11月 深海魚推しのコラボ可能性のある店舗や団体の視察と連携の模索

1月 ワークショップの実施

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

- ・地域課題を共創により解決を目指すワークショップカードを活用して、セミナー等が活性化して、より市民活動が充実し輝くまちになるきっかけを目指す。
- ・社会課題を解決するために市民活動に参加したり、起業する機運が高まり、課題解決型セミナーの開催も増える。
- ・市外の参加者や購入者を増やし、学生がデザインした深海魚とともに沼津をPRすることで、より沼津に関心をもってもらう。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 ・セミナーの開催回数 ・セミナーの参加者数	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 ・参加者へのアンケート
------	---	---------	-------------------------------------

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。ワークショップや市民活動が盛んなことが、あまり市内外に知られていないので、沼津の宝である深海魚をキャラ化したものを裏面にデザインしカード化することで、市外のセミナー等でも触れてもらい、沼津のことや市民活動について知ってもらうきっかけとする。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。きっかけは沼津市主催のセミナーに参加してワークショップを体験した事。個人課題を解決する活動の方向性を考えるよいセミナーで、そこで体験したワークショップを沼津の宝である深海魚をデザインしてカード化することで、もっと多くの人に伝えたい、市民活動の盛んな沼津をPRしたい、自分の資源に加えて、他の活動をしている団体との連携により広げることにつながる。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。沼津に関わる学生が生の感覚で楽しんでやることから始まった企画。深海魚も写真ではなく、学生のデザインでキャラ化したところがポイント。今年度は、その活動を定着化させ、来年度に向けての深海魚キャラを活用した連携を模索する一年とする。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。きっかけとなった沼津市主催セミナー講師の中川先生の全面協力のもと実施。昨年度はカードをリニューアルし、再度お招きしてセミナーを実施。マチカツに絡んでいる団体、新たな課題を模索する地公体、事業者などに声をかけ体験してもらう。また、参加者向けの販売も実施。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。昨年度は、カードの作成とセミナーを実施できた。今年は、セミナーの単独開催に加え、コラボ開催を模索。カードのネット販売も検討していく。将来的にふるさと納税も視野に。カードを使ったワークショップを単独で開催し、他のセミナーとの協力開催を目指す。また、深海魚は沼津の宝で、デザインした深海魚のイラストが沼津の深海魚関連の土産のデザイン等に採用されるといった展開も期待できる。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今後の活動予定

令和7年度 ワークショップを市内で開催する。他のセミナーとの連携も模索

- ・市内にて、セミナーを実施
- ・マチカツの中間報告会でのセミナー開催
- ・深海魚の説明シートの作成
- ・ワークショップカードの販売

令和8年度 若い人達もまちづくり、地域課題に巻き込んでいく活動も開始。自分たちでワークショップカードを活用したセミナーを開催。他のセミナーなどとコラボして、ワークショップカードを活用した時間を他のセミナーなどでも実施させてもらえるよう活動。沼津のPRにもつながるよう、沼津市外で開催されるセミナーにも参加していく。

- ・市内外のセミナー等での活用
- ・ワークショップカードの本格販売、ネット販売
- ・深海魚キャラの他商品とのコラボ

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

令和6年度 学生チャレンジの内容

- ・カードを40セット作成（1セット=40枚カード+アクションカード説明書+深海説明書）
- ・ワークショップを1回実施（チラシやレジュメも学生作成）

中川講師をお招きして、セミナーを開催しワークショップも実施。講義後の交流会も成功。